

わだ じゅん
【大賞】 和田 潤

拝啓 おふくろ様。

おふくろ、知ってるか。俺が学校で「ガイジンのくせに」ってバカにされていたこと。

それは無理もない。おふくろはアメリカ人なのに俺は英語が話せない。

r u nを「ルン」と呼んだ時は皆に笑われた。恥ずかしかった。本当に。

顔から湯気が出るほど。

だけど何より悔やまれるのは6歳の時におふくろが亡くなったこと。その寂しさから俺はたびたび親父と衝突した。遠足の焦げた卵焼き。母親参観日の無精ひげ。

綱引きでのギックリ腰。親父のせいで恥ずかしい思いもしたし、おふくろのせいで切ない思いもした。

でも親父はおふくろのいない寂しさをどうにか埋めようと必死だった。

俺たちはケンカもしたけど、最後は抱き合って泣いた。おふくろの遺影を前に、

悔しくて、恋しくて、泣いた。いま思えば俺たちの心にはいつもおふくろがいた。

今年で60回目の命日。何だか泣きそうになるけど遺影の笑顔がそれを許さないだろう。

話したかったな、もっと……………。

できることなら、ずっと……………。

戻れ、時間。湧くな、寂しさ。

こらえろ、涙。笑えよ、俺。

そろそろ俺も古希になる。もう歳だ。そう遠くないうちにそちらへ行くだらう。

いま少し英会話を習っている。今さらだなんて笑わないで欲しい。

だって、I l o v e や T h a n k の続きは自分で言いたいから。

大切な、おふくろに。

(東京都 / 66歳 / 男性 / 会社員)

いくち やすこ
【一宮館主賞】 井口 泰子

母への手紙 井口 泰子

母さん、会いに行けなくてごめんなさい。

コロナ禍で、母さんの入居施設が面会禁止なのです。

困っていることは、ありませんか。辛い思いをしていませんか。食欲はありますか。

眠れていますか。 母さんが施設に入って、1年が過ぎました。

母さんに最後に会ったのは、1月でした。今は10月です。

9ヶ月も母さんに会っていません。

1月に行った時、施設内は暖かく、お風呂上がりの母さんは、半袖で気持ちよさそうでした。

職員が、母さんのことを話してくれました。自分からは話さないが、話しかけると静かに微笑んで答えること。歩行器を使っている母さんは、車椅子の人が通ると、すぐ端によけること。食事の時、卓上のティッシュが取りにくい人がいると、その人の方へそうっと近づけること。

母さんのことをたくさん褒めてくれました。私は嬉しかったです。

集団生活が苦手な母さんが、相手のことを思って行動していました。

時折、施設の都合のよい時間を考え、電話をします。私がかけると、職員が子機を持って母さんの部屋に行きます。受話器から母さんの「もしもし」という声が聞こえると、私は胸が詰まります。母さんは耳が遠いので会話は難しいですが、元気でいたことを確認できて少しほっとします。

本当は、母さんの顔を見ることができれば、もっと安心できるのですが。

私は、週に1回、葉書を書きます。絵葉書を使ったり、パソコンで絵を書いたりして送ります。

母さんは、書くのが苦手なので返事はきませんが、私はこれからも書きます。

書くことで、母さんが近くにいるように感じるからです。

母さん、元気でいてください。コロナ禍が収束したら、すぐ、会いに行きます。

私は、母さんに飛びつき、泣いてしまうでしょう。

たきた ちえ
【一宮町長賞】 滝田 千恵

あなたへ

今日はあなたの誕生日だね。「そんなことは俺には関係ない。」と言うあなた。そうは言ってもこの世に生を受けた日よ。生まれたこと、生きていることは奇跡。特別なお祝いは出来ないけれど、お手紙書くことにしたよ。

東日本大震災があった年の夏の終わりに、病院から「ご主人が救急車で運ばれて来ます。すぐ連絡下さい。」と携帯の留守録を聞いた時から9年経ったね。仕事中に電信柱から落ちて重傷。主治医はレントゲンの画像を見せながら、頭蓋骨骨折・外傷性クモ膜下出血から始まり、内臓の損傷や、あちこちの骨折を水が流れるように説明したけれど、私はパニック状態。ダメなのか、大丈夫なのか。体の不自由と付き合う人生なのか。詰め寄る私に、命に別状は無いけれど退院までには暫く時間がかかる、クリスマスの頃かな、というのが主治医の返答だったっけ。

そこからあなたは頑張ったね。コツコツと地味な事をリハビリになるから、とやっていた姿を思い出すよ。その甲斐あって大きな後遺症もなく、64日目に退院し誕生日を自宅で迎え、周囲には脅威の回復力と驚かれたわ。その後は紆余曲折しながらも弱音一つ吐くことなく、仕事でも家族を養えるだけの状態にしてくれたあなた。

嫌な事や不安もあっただろうけど、愚痴も言わずに頑張ってくれて感謝しているよ。ありがとう。

あなたの誕生日はハロウィン。この日と満月が重なるのは46年ぶりで、この奇跡的な出来事、次回は38年後。95歳のあなたと93歳の私が一緒に月を愛でる姿は、そのままでもコスプレになりそうね。

そうしてこれからも苦しい事も楽しい事も一緒に味わっていこうよ。

これからの1年も素敵な日々でありますように。改めて、誕生日おめでとう。

あなたの妻より

(福島県 / 55歳 / 女性 / 主婦)